

令和2年度事務事業評価シート（令和元年度決算）

事業コード	640 - 3 -	作成者氏名	小熊 紀美恵	連絡先	0833-74-3007
事務事業名	予防接種事業	担当課	健康増進課		
予算費目	一般会計	款 4 衛生費	項 1 保健衛生費	目 2 予防費	
第2次総合計画	基本目標 重点目標 政策	コード 3 1 2	項目 安全・安心に包まれて人が心ゆたかに暮らすまち 心ゆたかに暮らすために 健康づくりの推進	第2次総合計画 124頁	

対象	予防接種法に基づく対象者及び光市任意接種対象者	意図 (対象をどのようにしたいのか)	予防接種を行うことにより疾病の予防及び重症化の予防を図る。また、感染症のまん延防止を図る。
事務事業の概要	感染症の発生及び疾病の重症化予防を図るため、予防接種法に基づく各種予防接種を予防接種広域化事業として、山口県医師会等に委託して医療機関の個別接種で実施する。		

事務事業の成果指標	単位	30年度実績	元年度			令和4年度目標	類似団体等の実績値等
			実績	目標	達成度		
A類疾病予防接種率（2-6、8、9、11、14）	%	82.8	84.1	90	93.4%	90	
B類疾病予防接種率（インフルエンザ）	%	54.8	57.6	60	96.0%	60	
B類疾病予防接種率（高齢者肺炎球菌）	%	54.3	31.4	32	98.1%	35	

◆事務事業（予算事業）を構成する業務◆

番号	業務の名称 (●=行動計画対象業務)		活動指標・事業費（千円）					業務評価	重点業務	
			指標名	単位	30年度実績	元年度実績	2年度目標			
			事業費	単位	30年度決算	元年度決算	2年度予算			
1	(B類) インフルエンザ予防接種	●	接種率	%	55	58	60	A		
			事業費	千円	33,894	36,362	36,868			
2	三種混合・4種混合予防接種	●	接種率	%	88	86	95	A		
			事業費	千円	17,438	16,654	18,518			
3	二種混合予防接種	●	接種率	%	87	95	95	A		
			事業費	千円	2,396	2,830	3,250			
4	日本脳炎予防接種	●	接種率	%	67	69	85	B		
			事業費	千円	17,448	14,767	18,798			
5	麻しん風しん予防接種	●	接種率	%	94	102	100	A	◎	
			事業費	千円	8,418	8,332	8,318			
6	BCG予防接種	●	接種率	%	100	100	100	A		
			事業費	千円	3,074	3,060	3,628			
7	ヒトパピローマウイルス感染症予防接種	●	接種率	%	1	3	3	A		
			事業費	千円	666	1,744	1,882			
8	H i b 感染症予防接種	●	接種率	%	78	78	95	A		
			事業費	千円	13,753	13,043	14,842			
9	小児の肺炎球菌感染症予防接種	●	接種率	%	78	80	95	A		
			事業費	千円	17,896	17,382	19,050			
10	単独不活化ポリオ予防接種	●	接種者数	人	6	0		A		
			事業費	千円	126	237	459			
11	水痘予防接種	●	接種率	%	71	70	90	B		
			事業費	千円	7,675	7,244	8,428			
12	(B類) 高齢者の肺炎球菌感染症予防接種	●	接種率	%	54	31	32	A		
			事業費	千円	14,148	4,146	8,733			
13	(任意) 高齢者の肺炎球菌感染症予防接種	●	接種者数	人	6	0	5	A		
			事業費	千円	52	237	453			
14	B型肝炎予防接種	●	接種率	%	82	79	90	B		
			事業費	千円	80,803	7,703	8,080			
15	風しんの追加的対策		抗体検査率	千円	—	27	40	D	○	
			事業費	千円	—	11,119	40			
16	風しんの予防接種費助成	●	助成者数	%	—	25	40	A		
			事業費	千円	—	361	705			
直接事業費の合計（千円） A					217,787	145,221	152,052			
職員人件費等			業務量（人工数）			2.25人	【業務評価】			
			人件費（千円） B			15,767	A：達成済 目標水準プラス見直し			
人件費を含む総事業費（千円） A+B							160,988	B：実施手法の要改善		
財源内訳			国庫支出金			3,949	C：目標水準マイナス見直し 実施手法の見直し			
			県支出金				D：業務廃止・完了の意向			
			地方債					E：元年度を以て廃止・終了		
			その他					—：一時的に実施無し		
			一般財源				157,039			

「重点業務」欄で、最重点化、重点化する業務として選択した理由
令和元年5月に「麻しんに関する特定感染症予防指針（厚生労働省）」が一部改正され、定期の予防接種の実施率向上に向けた対策を強化するとされたため、引き続き麻しん風しん予防接種を最重点化する事業とする。令和元年度に3年間の時限措置で開始した風しんの追加的対策について、受検率が目標より低いことから風しんの追加的対策を重点化する事業とする。

◆事務事業の評価◆

評価の視点	事務事業を実施した結果をそれぞれの視点で評価する。
事務事業の成果	成果指標を踏まえ、達成度や事業の効果を分析する。 麻しん風しん予防接種は、高い接種状況を保っている。特殊な事情により、接種率が低い、ヒトパピローマウイルス感染症予防接種、単独不活化ポリオ予防接種の2種類を除外して算出すると、その他のA類疾病予防接種率はおおむね8割を超えている。B類疾病予防接種率のうち高齢者の肺炎球菌感染症予防接種は、5年間の時限措置が延長され、未接種者が再度対象となったものであるため、接種率が低下している。風しんの追加的対策は、令和元年度から3年間の時限措置で開始したものであるが、受検率が目標より低く、抗体検査で陰性であった人の予防接種率は95%であった。
業務構成の有効性	事務事業の意図を達成するための業務の構成として適切かどうかを分析する。 予防接種法により定められている定期予防接種業務及びそれに付随する任意接種業務で構成されており適切である。風しんの追加的対策は、国の風しんの追加的対策に基づいて行っている業務であり、適切である。風しん予防接種費用助成事業は、風しんの追加的対策と合わせて行うことで、風しんの流行防止に有効である。
実施主体の妥当性	事務事業に対する市の役割、関係団体等（企業、地域団体、NPO等）の役割分担が適切かどうか分析する。 定期予防接種業務は、予防接種法に基づき市が実施するとされており、市が行うのが妥当である。風しんの追加的対策は、国の風しんの追加的対策に基づいて、市が実施するとされており、市が行うのが妥当である。風しん予防接種費用助成事業は、妊婦と生まれてくる子どもの風しん感染を防ぐために予防接種を接種した人への助成であるため市が行うのが妥当である。

◇担当課における改善等の案◇（※以下、意思形成過程につき非公開）

事務事業執行責任者 （課長名）	田中 満喜	最終評価責任者 （部長名）	松村 雄之
--------------------	-------	------------------	-------

令和2年度事務事業評価シート（令和元年度決算）

事業コード	640 - 6 -	作成者氏名	小熊 紀美恵	連絡先	0833-74-3007
事務事業名	がん検診等事業	担当課	健康増進課		
予算費目	一般会計	款 4	衛生費	項 1	保健衛生費
				目 3	保健指導費
第2次 総合計画	基本目標	コード	3	項目	安全・安心に包まれて人が心ゆたかに暮らすまち 心ゆたかに暮らすために 健康づくりの推進
	重点目標	1			
	政策	2			
					第2次総合計画 124頁

対象	20歳以上の市民	意図 (対象をどのようにしたいのか)	がん検診等を受診し、疾病の早期発見、早期対応を図ることで、健康の保持増進を図る。
事務事業の概要	健康増進法に基づき、各種がん検診等を、集団検診又は光市医師会委託の個別検診として実施し、がん等の疾病の早期発見、早期対応を図る。また、特定の年齢の人の検診自己負担額を無料にするなどの事業を行い、がん検診の受診率向上を図る。		

事務事業の成果指標	単位	30年度実績	元年度			令和4年度目標	類似団体等の実績値等
			実績	目標	達成度		
胃・肺・大腸がん検診平均受診率	%	7.3	8.2	25	32.8%	25	
子宮・乳がん平均受診率	%	12.4	13.3	25	53.2%	25	

◆事務事業（予算事業）を構成する業務◆

番号	業務の名称 (●=行動計画対象業務)		活動指標・事業費（千円）					業務評価	重点業務
			指標名 事業費	単位	30年度実績 30年度決算	元年度実績 元年度決算	2年度目標 2年度予算		
1	胃がん検診	●	受診率	%	4	7	7	A	◎
		事業費	千円	10,631	7,532	13,948			
2	肺がん検診	●	受診率	%	9	9	19	A	
		事業費	千円	9,687	9,380	11,511			
3	大腸がん検診	●	受診率	%	9	9	18	A	
		事業費	千円	5,887	5,903	6,859			
4	子宮がん検診	●	受診率	%	13	13	13	A	
		事業費	千円	6,430	7,617	7,369			
5	乳がん検診	●	受診率	%	12	13	14	A	
		事業費	千円	7,403	8,530	8,224			
6	前立腺がん検診	●	受診率	%	7	8	8	A	
		事業費	千円	1,970	2,009	2,081			
7	生活習慣病予防健診	●	受診率	%	1	0	1	A	
		事業費	千円	389	418	443			
8	がん検診推進事業	●	受診率	%	14	16	20	A	○
		事業費	千円	943	1,100	618			
9	40歳がん検診推進事業	●	受診率	%	6	8	8	A	○
		事業費	千円	370	409	413			
10	骨粗鬆症検診	●	受診率	%	3	3	5	B	
		事業費	千円	1,623	1,281	979			
11	がん検診トリプルお得事業	●	受診者（利用者）数	人	172	—	—		
		事業費	千円	384	—	—			
12	成人歯科健康診査	●	受診者数	人	139	157	150	A	
		事業費	千円	748	820	856			
13	ふしめ歯周病検診・歯周病チェック事業	●	受診者数	人	151	145	150	A	
		事業費	千円	716	703	850			
14			事業費	千円					
15			事業費	千円					
直接事業費の合計（千円）					A	47,181	45,702	54,151	
職員人件費等		業務量（人工数）				3.15人	【業務評価】		
		人件費（千円）		B		22,512	A：達成済 目標水準プラス見直し B：実施手法の要改善		
人件費を含む総事業費（千円）					A+B		68,214	C：目標水準マイナス見直し 実施手法の見直し D：業務廃止・完了の意向 E：元年度を以て廃止・終了 —：一時的に実施無し	
財源内訳		国庫支出金				890			
		県支出金				535			
		地方債							
		その他				629			
		一般財源				66,160			

「重点業務」欄で、最重点化、重点化する業務として選択した理由
がんは死亡原因の第1位で、総死亡の3割を占めている。早期発見の手段として検診は重要度が高い。胃がん検診は、国の指針が一部改正されたことに基づき、平成30年度から胃内視鏡検査の導入、検診対象者や検診間隔の変更を実施しているが、受診率が他のがん検診に比べて低いとため、最重点化する業務とする。また、受診のきっかけづくりを目的としたがん検診推進事業、40歳がん検診推進事業を重点化する業務とする。

◆事務事業の評価◆

評価の視点	事務事業を実施した結果をそれぞれの視点で評価する。
事務事業の成果	成果指標を踏まえ、達成度や事業の効果を分析する。 がん等の疾病の早期発見、早期対応には受診率の向上が課題である。国は、40～50%の受診率を目標に掲げているが、本市の受診率は、低い状況であるため、当面の目標を25%としている。受診率は横ばいや微増の状況である。引き続き、がん検診等の受診を促進するために、検診の必要性の普及啓発に努め、定期的な受診を促進する必要がある。
業務構成の有効性	事務事業の意図を達成するための業務の構成として適切かどうかを分析する。 健康増進法に定められた検診を推進するための事業構成であり、有効と考える。また、受診のきっかけをつくる事業についても、受診率や受診者数はやや増加傾向であり、有効と考える。
実施主体の妥当性	事務事業に対する市の役割、関係団体等（企業、地域団体、NPO等）の役割分担が適切かどうか分析する。 健康増進法により、がん検診等は市が実施するとされているため、市が行うのが妥当である。

◇担当課における改善等の案◇（※以下、意思形成過程につき非公開）

事務事業執行責任者 （課長名）	田中 満喜	最終評価責任者 （部長名）	松村 雄之
--------------------	-------	------------------	-------

令和2年度事務事業評価シート（令和元年度決算）

事業コード	510 - 3 -	作成者氏名	松岡 宏	連絡先	0833-72-1466
事務事業名	特定外来生物対策事業	担当課	環境政策課		
予算費目	一般会計	款 4	衛生費	項 1	保健衛生費
第2次総合計画	基本目標	コード	項目	体系外	
	重点目標 政策				
					第2次総合計画 頁

対象	アルゼンチンアリの生息が確認されている地域住民等	意図 (対象をどのようにしたいのか)	アルゼンチンアリについては、防除方法等の向上による効果的な一斉防除を実施することにより被害の拡大防止を図る。 また、セアカゴケグモなどの他の特定外来生物の市内への侵入を防止する。
事務事業の概要	アルゼンチンアリの生息確認地域において、地域住民や地元協議会と協働により効果的な一斉防除を実施することで生息範囲の拡大防止を図る。また、セアカゴケグモなどの他の特定外来生物の市内への侵入を防止するため、早期発見・早期対応の強化を図る。		

事務事業の成果指標	単位	30年度実績	元年度			令和4年度目標	類似団体等の実績値等
			実績	目標	達成度		
アルゼンチンアリの生息調査（一斉防除後の生息確認）	%	47.1	40	—	—	30	

◆事務事業（予算事業）を構成する業務◆

番号	業務の名称 (●=行動計画対象業務)	活動指標・事業費（千円）					業務評価	重点業務
		指標名 事業費	単位	30年度実績 30年度決算	元年度実績 元年度決算	2年度目標 2年度予算		
1	アルゼンチンアリ一斉防除（地元自治会・地元協議会）	一斉防除回数 事業費		2 千円	3 —	3 200	B	◎
2	アルゼンチンアリ一斉防除（市有地）	一斉防除回数 事業費		2 千円	3 95	3 107	B	◎
3	アルゼンチンアリの生息調査	調査箇所数 事業費		31 千円	34 0	34 0	B	○
4	アルゼンチンアリ対策広域行政協議会への参加	開催回数 事業費		1 千円	1 0	1 0	A	
5	セアカゴケグモの生息調査	調査回数 事業費		— 千円	9 0	9 0	A	
6		事業費		千円				
7		事業費		千円				
8		事業費		千円				
9		事業費		千円				
10		事業費		千円				
11		事業費		千円				
12		事業費		千円				
13		事業費		千円				
14		事業費		千円				
15		事業費		千円				
直接事業費の合計（千円） A					95	107	400	
職員人件費等		業務量（人工数）			0.75人		【業務評価】	
		人件費（千円） B			5,418			
人件費を含む総事業費（千円） A+B						5,525	A：達成済 目標水準プラス見直し B：実施手法の要改善 C：目標水準マイナス見直し 実施手法の見直し D：業務廃止・完了の意向 E：元年度を以て廃止・終了 —：一時的に実施無し	
財源内訳		国庫支出金						
		県支出金						
		地方債						
		その他 一般財源				5,525		

「重点業務」欄で、最重点化、重点化する業務として選択した理由
アルゼンチンアリの生息範囲の拡大防止等のためには、地元自治会（地元住民）及び地元協議会と市が協働して一斉防除を取り組む必要があることから最重点業務に設定し、また、一斉防除の効果の検証や生息範囲の状況把握のため生息調査が必要なことから重点業務に設定した。

◆事務事業の評価◆

評価の視点	事務事業を実施した結果をそれぞれの視点で評価する。
事務事業の成果	成果指標を踏まえ、達成度や事業の効果を分析する。 アルゼンチンアリの一斉防除については、「アルゼンチンアリ対策広域行政協議会」が作成したマニュアルを基に、地元協議会との効果的な防除についての協議や、地元協議会及び地元自治会との日程調整等を図りながら実施したことにより、生息範囲の減少が確認された地域もあり、一定の成果があるものと判断できる。
業務構成の有効性	事務事業の意図を達成するための業務の構成として適切かどうかを分析する。 アルゼンチンアリ対策としては、現状では生息地域における一斉防除が最も有効とされているため、地元協議会や地元自治会との協働で一斉防除を行うとともに、一斉防除後の生息範囲を調査により検証することは必須である。また、アルゼンチンアリ対策広域行政協議会を通して、防除等に関する有益な情報を得ることも有効である。
実施主体の妥当性	事務事業に対する市の役割、関係団体等（企業、地域団体、NPO等）の役割分担が適切かどうか分析する。 アルゼンチンアリの生息範囲の拡大防止等を図るため、地元自治会や地元協議会、行政（市）との協働により、防除手法として最も有効とされている一斉防除を行うことは妥当である。

◇担当課における改善等の案◇（※以下、意思形成過程につき非公開）

事務事業執行責任者 （課長名）	植本 一彦	最終評価責任者 （部長名）	森重 哲昌
--------------------	-------	------------------	-------

令和2年度事務事業評価シート（令和元年度決算）

事業コード	640 - 9 -	作成者氏名	野村 大泰	連絡先	0833-74-3007	
事務事業名	休日診療所運営事業	担当課	健康増進課			
予算費目	一般会計	款 4	衛生費	項 1	保健衛生費	
				目 6	休日診療所運営事業	
第2次総合計画	基本目標	コード	3	項目	安全・安心に包まれて人が心ゆたかに暮らすまち	
	重点目標		1			心ゆたかに暮らすために
	政策		5			地域医療体制の充実
					第2次総合計画 132頁	

対象	休日等における急病患者	意図 (対象をどのようにしたいのか)	一次救急として応急的な診療を行うことにより、安全・安心な生活を維持する。
事務事業の概要	診療所を設置し、休日等における救急患者に対して、応急的な診療を行う。診療科目は、内科・外科で、診療業務は光市医師会、薬事業務は山口県薬剤師会光市部、医療事務業務は民間業者に委託している。		

事務事業の成果指標	単位	30年度実績	元年度			令和4年度目標	類似団体等の実績値等
			実績	目標	達成度		
1日平均受診者数	人	30	30	—	—	—	

◆事務事業（予算事業）を構成する業務◆

番号	業務の名称 (●=行動計画対象業務)	活動指標・事業費（千円）					業務評価	重点業務	
		指標名	単位	30年度実績	元年度実績	2年度目標			
		事業費	単位	30年度決算	元年度決算	2年度予算			
1	休日診療所運営事業 ●	受診者数	人	2,229	2,334	—	A	◎	
		事業費	千円	26,354	27,401	29,601			
2		事業費	千円						
3		事業費	千円						
4		事業費	千円						
5		事業費	千円						
6		事業費	千円						
7		事業費	千円						
8		事業費	千円						
9		事業費	千円						
10		事業費	千円						
11		事業費	千円						
12		事業費	千円						
13		事業費	千円						
14		事業費	千円						
15		事業費	千円						
直接事業費の合計（千円） A				26,354	27,401	29,601			
職員人件費等		業務量（人工数）				0.75人	【業務評価】		
		人件費（千円） B				5,418			
人件費を含む総事業費（千円） A+B						32,819	A：達成済 目標水準プラス見直し B：実施手法の要改善 C：目標水準マイナス見直し 実施手法の見直し D：業務廃止・完了の意向 E：元年度を以て廃止・終了 —：一時的に実施無し		
財源内訳		国庫支出金							
		県支出金							
		地方債							
		その他				26,992			
		一般財源				5,827			

「重点業務」欄で、最重点化、重点化する業務として選択した理由
休日等の市民の一次医療を確保するためには、必要不可欠な事業であるため。

◆事務事業の評価◆

評価の視点	事務事業を実施した結果をそれぞれの視点で評価する。
事務事業の成果	<p>成果指標を踏まえ、達成度や事業の効果を分析する。</p> <p>受診者数の数値目標は目的にそぐわないため、参考数値とする。</p> <p>インフルエンザの流行状況等により受診者数は増減するが、休日における市民の急病時の安心・安全を確保するために必要不可欠な事業である。引き続き市民への休日診療所の周知に努めるとともに、経費節減を図る必要がある。</p>
業務構成の有効性	<p>事務事業の意図を達成するための業務の構成として適切かどうかを分析する。</p> <p>休日における一次医療を確保するための業務構成として適切である。</p>
実施主体の妥当性	<p>事務事業に対する市の役割、関係団体等（企業、地域団体、NPO等）の役割分担が適切かどうか分析する。</p> <p>休日における市民の一次医療を確保することは市の責務であるため、市が実施するのは妥当である。専門知識や資格が必要となる業務は光市医師会、山口県薬剤師会光支部、民間業者へ業務委託し、休日診療所を運営している。</p>

◇担当課における改善等の案◇（※以下、意思形成過程につき非公開）

事務事業執行責任者 （課長名）	田中 満喜	最終評価責任者 （部長名）	松村 雄之
--------------------	-------	------------------	-------

令和2年度事務事業評価シート（令和元年度決算）

事業コード	510 - 6 -	作成者氏名	松岡 宏	連絡先	0833-72-1466	
事務事業名	墓園管理運営事業	担当課	環境政策課			
予算費目	一般会計	款 4	衛生費	項 1	保健衛生費	
				目 8	墓地費	
第2次総合計画	基本目標	コード	項目	体系外		第2次総合計画 頁
	重点目標 政策					

対象	市営墓園の使用者及び使用希望者、市内に在る墓地使用者、市内における墓地及び納骨堂等の経営希望者	意図 (対象をどのようにしたいのか)	法令及び条例に基づいた手続き等を行うことにより、墓園等の適正な使用、経営、維持管理等がなされることを目的とする。
事務事業の概要	市営墓園については、「光市墓園の設置、墓地の管理等に関する条例」に基づき、施設の維持管理、区画の貸出し、返還手続き、使用者情報の管理等の事務を行う。また、市営以外の共同墓地についても状況把握に努め、遺骨を移動する際には改葬許可の手続きを行う。さらに、市内において墓地や納骨堂等の経営希望者に対し、事前の協議等を経た上で経営許可を行う。		

事務事業の成果指標	単位	30年度実績	元年度			令和4年度目標	類似団体等の実績値等
			実績	目標	達成度		

◆事務事業（予算事業）を構成する業務◆

番号	業務の名称 (●=行動計画対象業務)	活動指標・事業費（千円）					業務評価	重点業務
		指標名	単位	30年度実績	元年度実績	2年度目標		
		事業費	単位	30年度決算	元年度決算	2年度予算		
1	市営墓地維持管理業務	草刈等面積	ha	8	8	8	B	◎
		事業費	千円	6,875	7,765	8,797		
2	墓地区画の返還業務	区画の返還数	区画	63	65	60	A	○
		事業費	千円	4,280	4,041	4,000		
3	墓地区画の貸出業務	区画の貸出数	区画	22	21	17	A	○
		事業費	千円	0	0	0		
4	墓地区画の工事許可業務	墓碑設置工事件数	件	41	62	—	A	
		事業費	千円	0	0	0		
5	墓地区画使用者情報の変更業務	利用者情報変更件数	件	76	130	—	A	
		事業費	千円	0	0	0		
6	改葬手続業務	許可件数	件	38	37	—	A	
		事業費	千円	0	0	0		
7	墓地、納骨堂等の経営許可業務	許可件数	件	1	1	—	A	
		事業費	千円	0	0	0		
8		事業費	千円					
9		事業費	千円					
10		事業費	千円					
11		事業費	千円					
12		事業費	千円					
13		事業費	千円					
14		事業費	千円					
15		事業費	千円					
直接事業費の合計（千円） A				11,155	11,806	12,797		
職員人件費等		業務量（人工数）			0.70人	【業務評価】		
		人件費（千円） B			5,057	A：達成済 目標水準プラス見直し		
人件費を含む総事業費（千円） A+B					16,863	B：実施手法の要改善		
財源内訳		国庫支出金				C：目標水準マイナス見直し 実施手法の見直し		
		県支出金						
		地方債				D：業務廃止・完了の意向		
		その他			29	E：元年度を以て廃止・終了		
一般財源					16,834	F：一時的に実施無し		

「重点業務」欄で、最重点化、重点化する業務として選択した理由
公衆衛生対策上、市営墓園は、市として必須の業務であり、維持管理業務については、利用者が安全で快適に利用できるよう、最重点業務として取り組む必要がある。 また、返還業務及び貸出業務を重点業務とすることにより、無縁墓等による区画の荒廃を防ぐとともに、利便性の高い区画の新たな貸出しにつなげる。

◆事務事業の評価◆

評価の視点	事務事業を実施した結果をそれぞれの視点で評価する。
事務事業の成果	成果指標を踏まえ、達成度や事業の効果を分析する。 墓地の需要が大きく拡大する見込みがないことから、新たな区画整備を行わないため、平成30年度末をもって墓園特別会計を廃止するとともに、平成31年度からは一般会計に移行し、区画の貸出及び返還や墓園全体の清掃等といった維持管理を中心とした事業へと展開を図っている。 今後は、少子高齢化等による「墓守」の不在により無縁墓が増えることが見込まれるため、使用者の動向把握に努めるとともに、適正な管理を行うことで墓園全体の荒廃を防ぐことが重要である。
業務構成の有効性	事務事業の意図を達成するための業務の構成として適切かどうかを分析する。 市営墓園の維持管理に係る最低限の業務及び法令等に基づく必要な業務であり、適切である。
実施主体の妥当性	事務事業に対する市の役割、関係団体等（企業、地域団体、NPO等）の役割分担が適切かどうか分析する。 墓地の経営については、その公共性・公益性に鑑み、住民に対する基礎的なサービスとして、需要に応じて一定程度は行政が行うことが望ましいと考えられる。宗教法人や公益法人等も非営利性の面では墓地経営の主体としての適性は認められるが、地方公共団体は将来にわたり安定的に運営を行うことができるため、持続性の面ではより適性が高いと考えられる。

◇担当課における改善等の案◇（※以下、意思形成過程につき非公開）

事務事業執行責任者 （課長名）	植本 一彦	最終評価責任者 （部長名）	森重 哲昌
--------------------	-------	------------------	-------

令和2年度事務事業評価シート（令和元年度決算）

事業コード	330 - 8 -	作成者氏名	山近 義浩	連絡先	0833-72-1451
事務事業名	牛島飲料水供給施設事業		担当課	生活安全課	
予算費目	一般会計	款 4	衛生費	項 1	保健衛生費
				目 9	飲料水供給施設費
第2次 総合計画	基本目標	コード	4	項目	自然と都市が潤いゆたかに調和したまち 快適に暮らすために 安全でおいしい水の供給
	重点目標		2		
	政策		7		
					第2次総合計画 168頁

対象	牛島で飲料水供給施設を利用する市民	意図 (対象をどのようにしたいのか)	良質で安定した水の供給を行う
事務事業の概要	安定給水を実現するために、施設維持管理を行う。		

事務事業の成果指標	単位	30年度実績	元年度			令和4年度目標	類似団体等の実績値等
			実績	目標	達成度		

◆事務事業（予算事業）を構成する業務◆

番号	業務の名称 (●=行動計画対象業務)	活動指標・事業費（千円）					業務評価	重点業務
		指標名 事業費	単位 単位	30年度実績 30年度決算	元年度実績 元年度決算	2年度目標 2年度予算		
1	牛島飲料水供給業務 ●	事業費	千円	—	5,353	29,526	A	◎
2	牛島飲料水供給業務負担金	事業費	千円	—	4,049	4,050	A	
3		事業費	千円					
4		事業費	千円					
5		事業費	千円					
6		事業費	千円					
7		事業費	千円					
8		事業費	千円					
9		事業費	千円					
10		事業費	千円					
11		事業費	千円					
12		事業費	千円					
13		事業費	千円					
14		事業費	千円					
15		事業費	千円					
直接事業費の合計（千円）		A			9,402	33,576		
職員人件費等		業務量（人工数）			0.45人		【業務評価】 A：達成済 目標水準プラス見直し B：実施手法の要改善 C：目標水準マイナス見直し 実施手法の見直し D：業務廃止・完了の意向 E：元年度を以て廃止・終了 —：一時的に実施無し	
		人件費（千円）	B		3,251			
人件費を含む総事業費（千円）		A + B			12,653			
財源内訳		国庫支出金						
		県支出金						
		地方債						
		その他			436			
		一般財源			12,217			

「重点業務」欄で、最重点化、重点化する業務として選択した理由
安定給水を実現するため、施設の適切な維持管理が最重要項目であるため。

◆事務事業の評価◆

評価の視点	事務事業を実施した結果をそれぞれの視点で評価する。
事務事業の成果	成果指標を踏まえ、達成度や事業の効果を分析する。 必要な修繕、施設整備を実施することで、安定した給水を実施することができた。
業務構成の有効性	事務事業の意図を達成するための業務の構成として適切かどうかを分析する。 安定した水を供給するために必要な業務であり、適切である。
実施主体の妥当性	事務事業に対する市の役割、関係団体等（企業、地域団体、NPO等）の役割分担が適切かどうか分析する。 牛島飲料水供給施設は、非常に厳しい機器使用条件下での施設維持管理を実施している。維持管理を実施するにあたっては、安定給水を最重要に考慮し、可能な限りリスクを冒さないよう努めている。また地元自治会の協力により水道料金収納率は常に100%を維持しており、それぞれの役割分担は適切である。

◇担当課における改善等の案◇（※以下、意思形成過程につき非公開）

事務事業執行責任者 （課長名）	小田 忠司	最終評価責任者 （部長名）	縄田 光洋
--------------------	-------	------------------	-------

令和2年度事務事業評価シート（令和元年度決算）

事業コード	520 - 3 -	作成者氏名	曾根 茂樹	連絡先	0833-72-1470
事務事業名	環境美化推進事業	担当課	環境事業課		
予算費目	一般会計	款 4	衛生費	項 2	清掃費
				目 1	清掃総務費
第2次 総合計画	基本目標	コード	4	項目	自然と都市が潤いゆたかに調和したまち 自然を守り育てるために 循環型社会の構築
	重点目標		1		
	政策		3		
					第2次総合計画 151頁

対象	ボランティアをする人や光市快適環境づくり推進協議会	意図 (対象をどのようにしたいのか)	市民のボランティア活動や光市快適環境づくり推進協議会の環境美化活動等を支援することで、市民と自然が共生できる快適で潤いとやすらぎのあるまちづくりを進める。
事務事業の概要	虹ヶ浜海岸及び室積海岸等の漂着ごみの清掃委託やボランティアによる清掃活動の支援や市民の環境美化学習の促進、ごみの減量化及び再資源化することにより、市民と自然が共生できる快適で潤いとやすらぎのあるまちづくりを進めることができる。		

事務事業の成果指標	単位	30年度実績	元年度			令和4年度目標	類似団体等の実績値等
			実績	目標	達成度		
環境美化功労者の表彰	人	9	9	6	150.0%	6	
ボランティア清掃回数	団体	267	233	200	116.5%	200	

◆事務事業（予算事業）を構成する業務◆

番号	業務の名称 (●=行動計画対象業務)	活動指標・事業費（千円）					業務評価	重点業務
		指標名	単位	30年度実績	元年度実績	2年度目標		
		事業費	単位	30年度決算	元年度決算	2年度予算		
1	ボランティア清掃支援業務	参加人数	人	7,594	7,033	7,000	B	○
		事業費	千円	353	304	600		
2	海岸清掃業務	清掃回数	回	151	150	152	A	◎
		事業費	千円	7,506	7,343	7,612		
3	光市快適環境づくり推進協議会補助金	会議研修回数	回	5	6	5	A	
		事業費	千円	731	731	731		
4		事業費	千円					
5		事業費	千円					
6		事業費	千円					
7		事業費	千円					
8		事業費	千円					
9		事業費	千円					
10		事業費	千円					
11		事業費	千円					
12		事業費	千円					
13		事業費	千円					
14		事業費	千円					
15		事業費	千円					
直接事業費の合計（千円）				A	8,590	8,378	8,943	
職員人件費等		業務量（人工数）			1.03人	【業務評価】		
		人件費（千円）		B	7,441	A：達成済 目標水準プラス見直し B：実施手法の要改善 C：目標水準マイナス見直し 実施手法の見直し D：業務廃止・完了の意向 E：元年度を以て廃止・終了 —：一時的に実施無し		
人件費を含む総事業費（千円）				A + B		15,819		
財源内訳		国庫支出金						
		県支出金				9,229		
		地方債						
		その他						
		一般財源				6,590		

「重点業務」欄で、最重点化、重点化する業務として選択した理由
市民レベルによる快適な環境づくりを促進するための環境美化活動、ごみの減量化やリサイクルの推進、清掃活動などに対して、行政が側面から支援することにより、市民の環境に関する意識の高揚を図るとともに、本会が環境対策を中心とした快適な環境づくりの実現に向けた主導的役割を担うことを期待する。

◆事務事業の評価◆

評価の視点	事務事業を実施した結果をそれぞれの視点で評価する。
事務事業の成果	成果指標を踏まえ、達成度や事業の効果を分析する。 光市快適環境づくり推進協議会の成果としては、環境功労者表彰については、毎年推薦できる人材を育成できている。また、ボランティア清掃については、活動の成果として清掃人数を指標とし、実施団体数は毎年の増減はあるものの7,000人程度で推移していることから、収集等の支援をすることにより、引き続き市民に協力をお願いしたい。海岸清掃については、機械清掃を実施することにより、作業の効率化が図られ一定の成果が得られた。
業務構成の有効性	事務事業の意図を達成するための業務の構成として適切かどうかを分析する。 虹ヶ浜、室積海岸等の清掃及び、市民のボランティア活動への支援、また光市快適環境づくり推進委員会における環境美化活動の推進、ごみの減量化及び再資源化の推進、環境問題に対する市民意識の高揚といった活動を行うことで、市民と行政の協力体制が構築されることとなり、市民と自然が共生できる快適で潤いとやすらぎのあるまちづくりを進めるために有効である。
実施主体の妥当性	事務事業に対する市の役割、関係団体等（企業、地域団体、NPO等）の役割分担が適切かどうか分析する。 ボランティア清掃については、ボランティア袋の配布及び、清掃後の草等ごみの処理を支援していることから、市が実施主体として行うことは妥当である。また海岸清掃については、ボランティアだけでは補えないため、業者委託による定期的な清掃が必要なため、市が実施主体であることは妥当である。

◇担当課における改善等の案◇（※以下、意思形成過程につき非公開）

事務事業執行責任者 （課長名）	小山 昌義	最終評価責任者 （部長名）	森重 哲昌
--------------------	-------	------------------	-------

令和2年度事務事業評価シート（令和元年度決算）

事業コード	520 - 6 -	作成者氏名	曾根 茂樹	連絡先	0833-72-1470
事務事業名	不法投棄対策事業		担当課	環境事業課	
予算費目	一般会計	款 4	衛生費	項 2	清掃費
				目 2	じん芥処理費
第2次 総合計画	基本目標	コード	4	項目	自然と都市が潤いゆたかに調和したまち 自然を守り育てるために 循環型社会の構築
	重点目標		1		
	政策		3		
第2次総合計画 151頁					

対象	海岸、河川、自然公園、幹線道路沿いの駐車場等の利用者、周辺の自然環境の恩恵を受ける市民	意図 (対象をどのようにしたいのか)	不法投棄防止、不法投棄ごみの回収及び適正処理を行う。
事務事業の概要	自然環境の保全を図るため、月5日間2班（1班3人）体制で公共用地である海岸、河川及び幹線道路沿いの駐車場を中心に不法投棄された散乱ごみの回収を業者委託により実施。		

事務事業の成果指標	単位	30年度実績	元年度			令和4年度目標	類似団体等の実績値等
			実績	目標	達成度		
不法投棄物回収量	袋	3,541	3,073	4,500	68.3%	4,000	

◆事務事業（予算事業）を構成する業務◆

番号	業務の名称 (●=行動計画対象業務)	活動指標・事業費（千円）					業務評価	重点業務
		指標名 事業費	単位	30年度実績 30年度決算	元年度実績 元年度決算	2年度目標 2年度予算		
1	不法投棄物回収委託業務	回収日数（年間） 事業費	日 千円	120 3,034	120 3,062	120 3,091	B	◎
2	不法投棄による家電リサイクル法対象家電及びタイヤ、消火器処理業務	リサイクル家電処理料 事業費	件 千円	28 216	30 124	30 332	A	○
3	不法投棄防止用看板作製業務	設置枚数 事業費	本 千円	8 54	10 55	10 55	A	
4		事業費	千円					
5		事業費	千円					
6		事業費	千円					
7		事業費	千円					
8		事業費	千円					
9		事業費	千円					
10		事業費	千円					
11		事業費	千円					
12		事業費	千円					
13		事業費	千円					
14		事業費	千円					
15		事業費	千円					
直接事業費の合計（千円） A					3,304	3,241	3,478	
職員人件費等		業務量（人工数）			0.38人	【業務評価】 A：達成済 目標準プラス見直し B：実施手法の要改善 C：目標準マイナス見直し 実施手法の見直し D：業務廃止・完了の意向 E：元年度を以て廃止・終了 F：一時的に実施無し		
		人件費（千円） B			2,745			
人件費を含む総事業費（千円） A + B						5,986		
財源内訳		国庫支出金						
		県支出金						
		地方債						
		その他						
		一般財源			5,986			

「重点業務」欄で、最重点化、重点化する業務として選択した理由
不法投棄は、美しい自然やまちなみの景観を損ない、周囲を不衛生にするほか、害虫の発生や、有害物質による土壌・水質の汚染被害を発生させる恐れがあり、防止や回収及び処理の業務を最重点化する。

◆事務事業の評価◆

評価の視点	事務事業を実施した結果をそれぞれの視点で評価する。
事務事業の成果	成果指標を踏まえ、達成度や事業の効果を分析する。 不法投棄等を発生させない環境づくりをさらに強化していくための取組として、不法投棄ごみを回収することで、不法投棄を誘発することを防止することができる。
業務構成の有効性	事務事業の意図を達成するための業務の構成として適切かどうかを分析する。 不法投棄に係る業務で構成しており有効である。
実施主体の妥当性	事務事業に対する市の役割、関係団体等（企業、地域団体、NPO等）の役割分担が適切かどうか分析する。 不法投棄が無くなることは、現実的には難しいことであり、公共用地に投棄されたごみについては、ボランティアの協力による回収の促進も必要であるが広範囲に及ぶため、市による回収処理が妥当である。

◇担当課における改善等の案◇（※以下、意思形成過程につき非公開）

事務事業執行責任者 （課長名）	小山 昌義	最終評価責任者 （部長名）	森重 哲昌
--------------------	-------	------------------	-------

令和2年度事務事業評価シート（令和元年度決算）

事業コード	530 - 7 -	作成者氏名	山口 正人	連絡先	0833-72-1476	
事務事業名	汚水処理共同化事業	担当課	下水道課			
予算費目	一般会計	款 4	衛生費	項 2	清掃費	
				目 3	し尿処理費	
第2次 総合計画	基本目標	コード	4	項目	自然と都市が潤いゆたかに調和したまち	
	重点目標		1			自然を守り育てるために
	政策		4			公共用水域の保全
					第2次総合計画 154頁	

対象	し尿処理事業及び下水道事業	意図 (対象をどのようにしたいのか)	下水道によるし尿等の共同処理を実現するため、汚水処理共同化施設を整備し、当該施設でし尿等を受け入れ、下水道処理施設において効率的に汚水を共同処理することで、将来にわたり安定した事業運営を図る。
事務事業の概要	下水道によるし尿等の共同処理を実現するため、汚水処理共同化施設を整備し、当該施設でし尿等を受け入れ、下水道処理施設において効率的に汚水を共同処理することで、将来にわたり安定した事業運営を図る。		

事務事業の成果指標	単位	30年度実績	元年度			令和4年度目標	類似団体等の実績値等
			実績	目標	達成度		

◆事務事業（予算事業）を構成する業務◆

番号	業務の名称 (●=行動計画対象業務)	活動指標・事業費（千円）					業務評価	重点業務
		指標名	単位	30年度実績	元年度実績	2年度目標		
		事業費	単位	30年度決算	元年度決算	2年度予算		
1	汚水処理共同化に関する計画策定等業務	委託件数	件	—	1	—	A	◎
		事業費	千円	—	5,940	0		
2		事業費	千円					
3		事業費	千円					
4		事業費	千円					
5		事業費	千円					
6		事業費	千円					
7		事業費	千円					
8		事業費	千円					
9		事業費	千円					
10		事業費	千円					
11		事業費	千円					
12		事業費	千円					
13		事業費	千円					
14		事業費	千円					
15		事業費	千円					
直接事業費の合計（千円）				A		5,940		
職員人件費等		業務量（人工数）			0.90人		【業務評価】	A：達成済 目標水準プラス見直し B：実施手法の要改善 C：目標水準マイナス見直し 実施手法の見直し D：業務廃止・完了の意向 E：元年度を以て廃止・終了 —：一時的に実施無し
		人件費（千円）		B		6,502		
人件費を含む総事業費（千円）				A + B		12,442		
財源内訳		国庫支出金						
		県支出金						
		地方債						
		その他						
		一般財源				12,442		

「重点業務」欄で、最重点化、重点化する業務として選択した理由
下水道事業は、今後、人口減少に伴う使用料収入の減少が想定され、施設の老朽化に伴う改築更新を進めていく必要がある。また、し尿処理事業においては人口減少に伴うし尿及び浄化槽汚泥の量の変化、施設の老朽化及び災害のリスクへの対策が課題となっている。このことから、下水とし尿等の共同処理を行うことで、将来にわたり効率的かつ安定した汚水処理事業の事業運営を図れるため、重点的に取り組むこととする。

◆事務事業の評価◆

評価の視点	事務事業を実施した結果をそれぞれの視点で評価する。
事務事業の成果	成果指標を踏まえ、達成度や事業の効果を分析する。 下水とし尿等の共同処理の実現可能性を精査のうえ、「光市汚水処理共同化計画」を策定し、汚水処理共同化の基本的な方向性を取りまとめた。事業としては「光市汚水処理共同化計画」により、汚水処理共同化施設の整備を進めることが成果となり、施設の完成をもって目的を達成することから成果指標は設定していない。
業務構成の有効性	事務事業の意図を達成するための業務の構成として適切かどうかを分析する。 効率的かつ安定した汚水処理事業の事業運営を図るため、下水とし尿等の共同処理の実現を目的とした業務として適切であると考ええる。
実施主体の妥当性	事務事業に対する市の役割、関係団体等（企業、地域団体、NPO等）の役割分担が適切かどうか分析する。 し尿等の一般廃棄物を取り扱う事業であることから、市が実施することが妥当である。

◇担当課における改善等の案◇（※以下、意思形成過程につき非公開）

事務事業執行責任者 （課長名）	中本 信一	最終評価責任者 （部長名）	森重 哲昌
--------------------	-------	------------------	-------